ARES® Commander 2024、ARES® Touch 、ARES® Kudo の主な新機能

+Gräbert

もっと速く！ もっと楽しく！ もっとスマートに！

ARES® Commander
DESKTOP CAD

ARES® Touch
MOBILE CAD

ARES® Kudo
CLOUD CAD

ARES® Commander 2024 の主な新機能

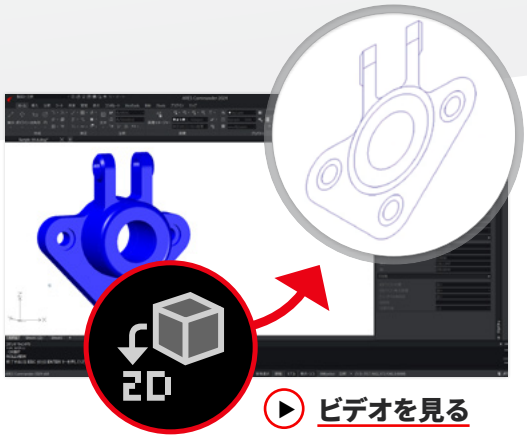
あらゆるデバイスで可能な最新の DWG 編集

ウェブサイトから詳しい情報を得ることができます： WWW.GRAEBERT.COM/JA/NEW

さらにCAD環境を改善

CAD環境とワークフローをニーズに合わせてカスタマイズすることにより、快適かつ効率的に作業することができます。頻繁に使用するツールやデータの配置を共同作業者と共有することにより、部門全体がその恩恵を受けることができます。最新版 ARES Commander 2024で新たに搭載されたツールパレットは、これまで以上にカスタマイズすることができ、さらにAutoCADからインポートすることも可能です。また、Windows ユーザーに馴染みのあるリボンUIをMac および Linux 版でサポートし、異なるプラットフォームで同様な操作を可能にしました。新しい TopoPoints モジュールを使う事で、ARES Commanderユーザーは、トータルステーションから座標をインポート/エクスポートすることができるようになりました。

1



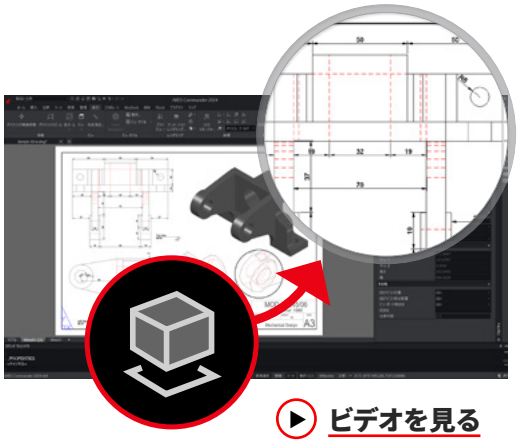
ビデオを見る

Flatten

3D図形を2D投影図に変換する新しいFLATTENコマンドを導入しました。

この新しいオプションは、見えている部分と後ろに隠れている部分を明確に区別することができ、高さが適切に設定されていないエンティティを問題なく描画させることもできます。

2



ビデオを見る

Flatshot

以前のバージョンの ARES Commander の MAKEFLATSNAPSHOT コマンドに、隠線を表現するためのオプションが追加されました。

MAKEFLATSNAPSHOT コマンドに、隠線を表現するためのオプションが追加されました。外形線の色と線のスタイルを指定します。隠線の表示を選択することで、表示 の色と線種を変更できるようになりました。"正接エッジを表示"は、フラットな正接エッジを表示するオプションです。

ARES®、 ARES Commander™、 ARES Touch™、 ARES Kudo™、 ARES Map™、 ARES Mechanical™、 SiteMaster ™は、 Graebert GmbH の商標または登録商標です。 その他のすべての商標および登録商標は各所有者に帰属します。 ©2023 Graebert GmbH. 無断複写、複製、転載を禁ず。

新機能の詳細はwww.graebert.com/ja/cad-software/ares-commander/new-features/まで

オーダーデスク +81 (0)3 6890 3303 sales@graebert.jp
サポートデスク support@graebert.jp

それは、そのまま使えるブロックや定義済みのエンティティ、例えば、単なるポリラインではなく、"特定のタイプの壁を表す特定の色とレイヤーを持つポリライン"などを組み合わせたツールパレットなどです。

3

ARCHパレットの「壁-線」ツールは、エンティティの種類をあらかじめ設定できる例です。

ビデオを見る

ツールパレット

+ AutoCAD® で作成したツールパレットをインポートすることで、ARES へのスムーズな移行を確実に行うことができます。
+ デフォルト（定義済み）ツールパレットを使用したり、新しいツールパレットを作成することで、カスタマイズされたツールやデータで生産性を向上させることができます 。
+ ツール パレットをエクスポートして、他の ARES または AutoCAD ユーザーと共有することができます 。

通常、CAD ユーザーは、プロジェクトごとによく似た図面群を扱うことが多いため、同じ種類の特定のツールやデータが何度も必要になります。図面ファイルやアプリケーションのセッションを問わず、利用頻度の高いツールやデータを一元管理することにより効率化を図ることができます。

これらのツールやデータは、次のように分類することができます。

+ ブロック
+ 幾何学的なエンティティ（例：線、円弧など）
+ ハッチとグラデーション
+ 注釈（例：文字、寸法、表など）
+ システム変数
+ LISPルーチン
+ 外部参照 - 図面や画像

このニーズに対応するために、ツールパレットを提供しています。このツールパレットは、ARES Commander の他のパレットと同様に設計されており、ドッキング、自動非表示などの一般的なプロパティをすべて備えています。

ツールパレットに、ユーザーは自分が必要とするツールやデータを格納して整理するための独自のパレットを作成することができます。これらのパレットは、AutoCAD と同じ*.xtpファイル形式で他の ARES Commander または AutoCAD ユーザーと共有することもできます。つまり、AutoCAD で作成したツールパレットを ARES Commanderで使用したり、その逆も可能です。これにより、部署や会社全体でツールの再利用がより迅速かつ一貫性があるものになります。

ARES Commander で提供されるデフォルトのツールパレット

ARES Commander 2024 のユーザーは、デフォルト（定義済み）パレットを使って、ツールパレットの効果を確認することができます。このツールパレットは、独自のパレットを構成するための初期設定として使用することも、ゼロから作成する別のパレットと置き換えることもできます。

ARES®、 ARES Commander™、 ARES Touch™、 ARES Kudo™、 ARES Map™、 ARES Mechanical™、 SiteMaster ™は、 Graebert GmbH の商標または登録商標です。 その他のすべての商標および登録商標は各所有者に帰属します。 ©2023 Graebert GmbH. 無断複写、複製、転載を禁ず。

新機能の詳細はwww.graebert.com/ja/cad-software/ares-commander/new-features/まで

オーダーデスク +81 (0)3 6890 3303 sales@graebert.jp
サポートデスク support@graebert.jp

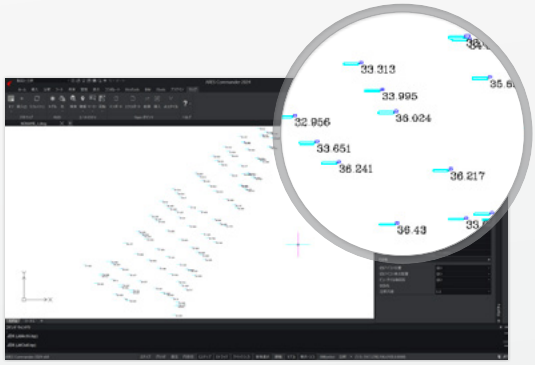
あらゆるデバイスで可能な最新のDWG編集

MacとLinuxで利用可能なリボンUI

ARES CommanderのWindows版でおなじみのリボン型ユーザーインターフェース（UI）が、MacOS版とLinux版でも使用できるようになりました。

4

つまり、短縮した手順でツールにアクセスできたり、アイコンでコマンドを簡単に覚えられるなど、コンテキストリボンのメリットを3つのプラットフォームで享受できるようになったのです。



5

▶ ビデオを見る

測量地点のインポートとエクスポート

測量士は、現場で指定した地点の正確な位置を測量するためにトータルステーションを使用します。 新しいARES Commanderは、このようなユーザーが図面上に必要な測量地点を簡単にプロットできるようにするために開発された機能を備えています。

新しいTopoPoints機能では、ユーザーは手動でポイントを挿入し、ポイントのタグ／番号、レイヤー、高さ、XY座標をコントロールすることができます。ポイントデータを含むテキストファイルをインポートすることで、同様の操作を自動化することも可能です。また、ポチントデータを付加した図面をエクスポートすることができます 。

6

VISUAL STUDIO MARKETPLACE から拡張機能をダウンロードする

FLISP - LISPエディタとデバッガ

新しいLISP Editorは、Visual Studio Codeの拡張機能で、コードの編集やデバッグを簡単に行うことができます。

多くのユーザーや企業がLISPでカスタマイズを行っています。LISPは実行に必要なリソースやツールが少なく、インターネット上で役立つコードが数多く見つかるため、DWG編集を自動化したりカスタマイズしたりする一般的な方法となっています。

しかし、LISPプログラムのデバッグが難しい場合があります。この点を考慮して、ARES Commanderの新しいリリースでは、Visual Studio Code拡張機能により、LISP開発者がルーチンを適切に編集してデバッグし、時間を節約できるようになっています。

主要な操作で25～50%高速化

ARES Commander のコア技術である DWG テクノロジーのアップグレードにより、新バージョンでは多くのオペレーションのパフォーマンスが大幅に改善されました。

7

CAD　ユーザーの日常業務で頻繁に実行されるいくつかの操作で、本リリースで大幅にパフォーマンスの向上が図られました。例えば、選択操作は以前のバージョンより 50% 高速化され、コピーと貼り付けは 25% 高速化され、Undo にいたっては 8 倍速くなる場合もあります。2024　リリースバージョンのパフォーマンステストでは、評価範囲を広くするために、さまざまな分野のサンプル図面を対象としており、上記のパフォーマンス向上については、これらの異なる図面に対して、いくつかの重要かつ一般的な操作を実行して収集される平均時間について説明しています。

Gräbert

ARES®、 ARES Commander™、 ARES Touch™、 ARES Kudo™、 ARES Map™、 ARES Mechanical™、 SiteMaster ™は、 Graebert GmbH の商標または登録商標です。 その他のすべての商標および登録商標は各所有者に帰属します。 ©2023 Graebert GmbH. 無断複写、複製、転載を禁ず。

新機能の詳細はwww.graebert.com/ja/cad-software/ares-commander/new-features/まで

オーダーデスク　+81 (0)3 6890 3303　sales@graebert.jp
サポートデスク　support@graebert.jp

ARES Commander、ARES Kudo、ARES Touchを有効にするTrinityコラボレーション機能

ウェブサイトから詳しい情報を得ることができます： WWW.GRAEBERT.COM/JA/NEW

ARESの特徴の1つは、ARES Commander（Windows、Mac、およびLinuxコンピュータ用のデスクトップ版）、ARES Kudo（クラウド版）、およびARES Touch（Android／iOSのモバイル版）の間でシナジーを生み出すTrinityコンセプトです。

Trinity 機能により、オフィスで作業するユーザーと、離れた場所にいる同僚や顧客との間のコラボレーションを大幅に改善する最新のコラボレーション ワークフローが実現します。また、クラウドベースのコラボレーションワークフローをARES Commanderに導入することで、ユーザーが作業環境を変更したり、機能を妥協したりすることなく、迅速な作業を実現します。Trinityの機能はクラウドサービスであるARES Kudoに依存しているため、これらの機能を使用するには、ユーザーはサブスクリプション契約を維持する必要があります。これは、1年ライセンス、3年ライセンス、永久ライセンス、ネットワークライセンスのいずれをお持ちの場合でも同様です。

ARES Trinity が実現することは?

スムーズに最新のコラボレーションツールを導入できる

CADユーザーは、AutoCADと類似の作業環境を提供するARES Commanderに即座に切り替えて、作業を継続することができ、そのための大規模なトレーニングに時間を取られることもなく、2D/3DにおけるCAD機能を妥協する必要もありません。ユーザーは、スムーズでシームレスな移行ができ、すぐにTrinityコラボレーション機能のメリットを実感することができます 。

すべてのユーザーとすべてのタイプのデバイス間でファイルを同期する

ARES Trinity では、ユーザーがなじみのあるクラウドストレージサービスと直接アクセスができるため、すべてのデバイスで作業の継続性が保証されます。そのため、オフィスで作業を開始した後、クライアントのオフィス、自宅、外出先など、どこでもプロジェクトを継続することができます。ARES のライセンスと DWG ファイルは、デバイスや場所を選ばずに使用できます。最も重要なことは、図面がすべてのユーザー間で同期されることです。
リモート、ホームオフィス、または現場で作業している各ユーザーは、別のユーザーが変更を保存するたび、即座に図面の更新を確認することができます。

ARES®、 ARES Commander™、 ARES Touch™、 ARES Kudo™、 ARES Map™、 ARES Mechanical™、 SiteMaster ™は、 Graebert GmbH の商標または登録商標です。 その他のすべての商標および登録商標は各所有者に帰属します。 ©2023 Graebert GmbH. 無断複写、複製、転載を禁ず。

新機能の詳細はwww.graebert.com/ja/cad-software/ares-commander/new-features/まで

オーダーデスク +81 (0)3 6890 3303 sales@graebert.jp
サポートデスク support@graebert.jp

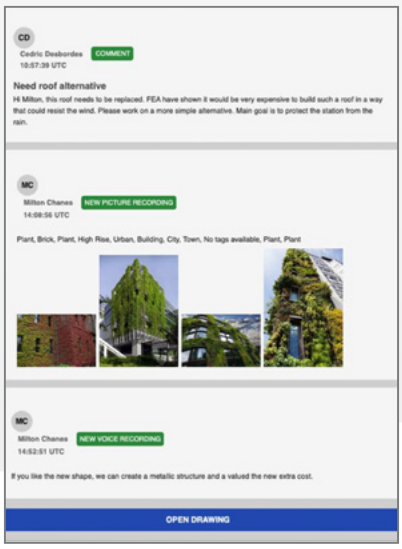
ARES Commander、ARES Kudo、ARES Touchを有効にするTrinityコラボレーション機能

図面への安全なリモートアクセスを実現する

各ユーザーは、ログインとパスワードで認証されます。 会社の管理者は、組織内でどのクラウド ストレージ プロバイダーを承認するかを決定できます。 各ユーザーには、クラウドストレージで定義されたアクセス許可に基づいて、表示または編集のアクセスが許可されます。 誰が各ファイルにアクセスできるかをいつでも確認し、必要に応じて権限を付与または取り消すことができます。 バージョン履歴には、誰がいつ図面を変更したかが表示されます。連続したバージョンを比較して、変更を色で強調表示することもできます。 必要に応じて、変更を元に戻したり、古いバージョンを昇格させて現在のバージョンにすることもできます。

俊敏なコラボレーションツールで市場投入までの時間を短縮する

ユーザーは、ARES Commander、ARES Kudo、ARES Touch で作業しながら、選択したエンティティにリンクできるコメントやマークアップを使用して、プロジェクトについて話し合うことができます。このようなディスカッションスレッドはパレットに表示され、プロジェクトに手を加えることなく、コンテキストに従ったコラボレーションを可能にします。遠隔地や現場での作業でも、俊敏なコラボレーション環境が確保されます。 さらに、これらの機能により、図面を作成するユーザーとその図面をもとに業務を遂行する現場のユーザーとの間のワークフローが改善されます。



これらのコラボレーション機能には次のものがあります。:

選択範囲にズームインして返信や回答を行うことができ、最終的には検証済みとしてマークすることができるコメント機能

- Picture Markup は、デバイスに保存された画像を挿入する機能です。また、現場で写真を撮影することもできます（例：スマートフォンで）。
- Voice Markup は、音声を録音してコメントすることができます。
- スタンプ機能で、「レビュー予定」とか「検証済み」といった定型文を挿入することができます。また、独自のスタンプを作成することもできます。
- メール通知により、プロジェクトに関するタイムリーな更新情報を提供し、迅速に対応できます。

無料のオンライン表示とコメント機能で、フィードバックと検証を簡単に収集可能

同僚、顧客、その他の共同作業者を招待して、図面を閲覧したり、コメントしたりすることができます。— 無料で ！

プロジェクトの現在の状態を常に反映する表示専用リンクにより、共同作業者は、ソフトウェアの購入やインストールの必要はなく、すぐに図面にアクセスできるようになります。 作成した表示専用リンクを送信すれば、その送信先ではオンラインで図面を閲覧できるだけでなく、ARES Trinityのコラボレーション機能を使えば、コメントやマークアップを追加することができ、設計チームはリアルタイムでフィードバックを確認することができます。

企業の管理者は、ユーザーが表示専用リンクを使用する方法を設定または制限することができます：

- 表示専用リンク作成オプションの有効化／無効化
- 閲覧者にPDFを保存させるオプションの有効化／無効化
- 自動で期限切れとなる閲覧専用リンクの有効期間制限

ARES ユーザーは、セキュリティを強化するために、閲覧専用リンクに有効期限やパスワードを設定することができます。

動画を見る

ARES®、 ARES Commander™、 ARES Touch™、 ARES Kudo™、 ARES Map™、 ARES Mechanical™、 SiteMaster ™は、 Graebert GmbH の商標または登録商標です。 その他のすべての商標および登録商標は各所有者に帰属します。 ©2023 Graebert GmbH. 無断複写、複製、転載を禁ず。

新機能の詳細はwww.graebert.com/ja/cad-software/ares-commander/new-features/まで

オーダーデスク +81 (0)3 6890 3303 sales@graebert.jp
サポートデスク support@graebert.jp

CAD データの連携のための最も有効な方法

クラウド環境でファイルを一元管理すると、俊敏性が向上し、コラボレーションが向上します。ARES Commander を使用すると、プロジェクトにとって意味のあることに応じて、(以前と同様に) ローカル ファイルを操作することも、クラウド内のファイルを使用することも、その両方を行うこともできる柔軟性を維持できます。

ARES　Trinityは、一般的なものも含め、次のような主要なクラウドストレージサービスのAPIと密接に接続されています ：

+ Microsoft OneDrive
+ Google Drive
+ Box
+ Dropbox

次のような専門的なストレージサービスも同様です。

+ Microsoft OneDrive for Business
+ Microsoft SharePoint

また、次のようなサーバーに保存されているDWGファイルを作成および変更するための業界固有のソリューションにも対応します。

+ Onshape
+ Trimble Connect

最後になりましたが、ARESはプライベートサーバーやプライベートクラウドとの連携も可能です。WebDAVプロトコルを使用すれば、プライベートサーバーに接続することができます。また、NextcloudやAWSとの連携により、どのような組織でも独自のプライベートクラウドを構築することができます。

どのような仕様であっても、管理者が自社内で許可または制限されるストレージソリューションを完全にコントロールできることが非常に重要です。

我々の役割は、各パートナーの運用やセキュリティの要件に基づき、さまざまなオプションを提供することで、お客様をサポートすることです。

ARES®、 ARES Commander™、 ARES Touch™、 ARES Kudo™、 ARES Map™、 ARES Mechanical™、 SiteMaster ™は、 Graebert GmbH の商標または登録商標です。 その他のすべての商標および登録商標は各所有者に帰属します。 ©2023 Graebert GmbH. 無断複写、複製、転載を禁ず。

新機能の詳細はwww.graebert.com/ja/cad-software/ares-commander/new-features/まで

オーダーデスク　+81 (0)3 6890 3303　sales@graebert.jp
サポートデスク　support@graebert.jp

トリニティ ブロック ライブラリ

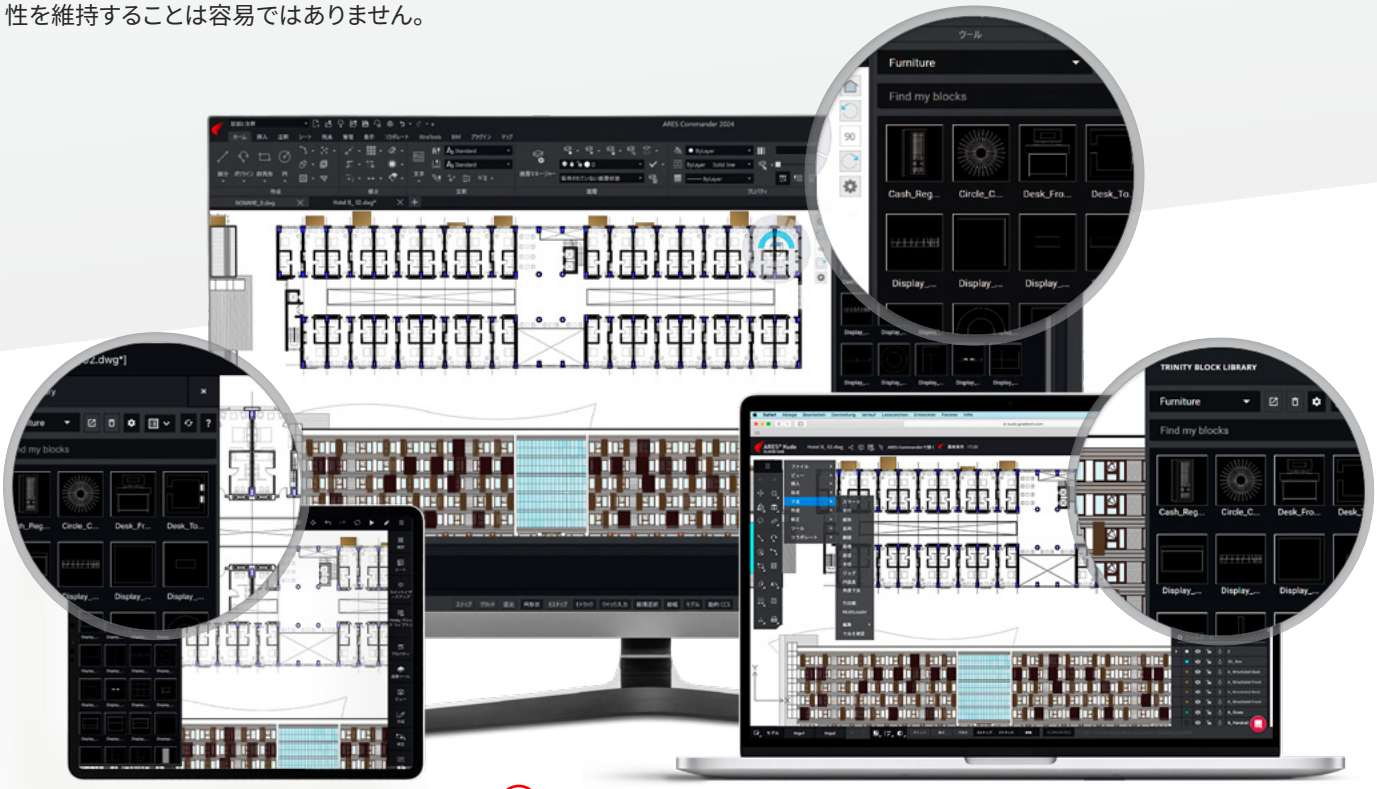
ARES Commander、ARES Kudo、ARES Touch で使用可能なブロックライブラリを作成します。 そのトリニティブロックライブラリであれば、組織の全ユーザーで、統一された1つのブロックライブラリを簡単に共有できます。ブロックはクラウドに保存されるため、更新されたライブラリはすべてのユーザーが即座に利用できます。

ブロックは、CADで最も便利な機能の 1 つであり、ユーザーの時間を節約し、図面の精度を高めます。多くの場合、ユーザーが類似した図面を作図するのに時間がかかるので、同じブロックのセットを何度も使用する必要があります。 また、デスクトップ、Web、モバイルなどのさまざまな環境で作業するユーザーもいますが、一連の図面を同期させて更新することは、非常に難しい場合があります。
一部の企業では、特定のブロックのセットが多くのユーザーによって共有されています。また、これらのブロックは、顧客の要件を満たすためなどを目的として、時々更新する必要があります。すべてのユーザーが更新された同じブロックを利用できるようにする必要がありますが、ユーザー側でブロックの一貫性を維持することは容易ではありません。

これらの課題に答えるために、ARESではクラウドベースのブロックライブラリパレットを導入しています。ブロックライブラリはTrinityコンセプトに統合されています。つまり、Graebertアカウントがクラウドストレージに直接リンクされているため、ユーザーはARESがインストールされている別々のデバイスから、即ち、Webやモバイルなどの異なる環境からでも、同じブロックのセットにアクセスできます。

ブロックライブラリのもう1つのメリットは、ブロックを格納、整理、取得するためのカスタマイズが可能です。柔軟な使い方として、他のユーザーとブロックを共有できるため、図面の一貫性と精度を向上させます。

1



▶ ビデオを見る

重要: トリニティブロックライブラリは、ARES Commanderだけでなく、ARES Kudo及びARES Touchでも利用できます。
これにより、ユーザーは、オフィスの中でだけでなく、クラウド版やモバイル版を使用して、外出先からでも他のデバイスのものと同じブロックに簡単にアクセスすることができ、ブロックライブラリが組織全体で共有されれば、それは社内のすべてのユーザーにとって標準化された強力なコラボレーションツールになります。 例えば、ARES Touchを使用すると、現場のユ ーザーはスマートフォンやタブレットで図面との確認調査を実施し、オフィスのユーザーとリアルタイムで同期される図面にブロックを挿入できます。また、トリニティブロックライブラリでは、ブロックが追加、削除、または変更されるたびに、すべてのユーザーが何もインストールまたは展開する必要なく、更新された図面に即座にアクセスできることもでき、非常に便利です。

ARES®、 ARES Commander™、 ARES Touch™、 ARES Kudo™、 ARES Map™、 ARES Mechanical™、 SiteMaster ™は、 Graebert GmbH の商標または登録商標です。 その他のすべての商標および登録商標は各所有者に帰属します。 ©2023 Graebert GmbH. 無断複写、複製、転載を禁ず。

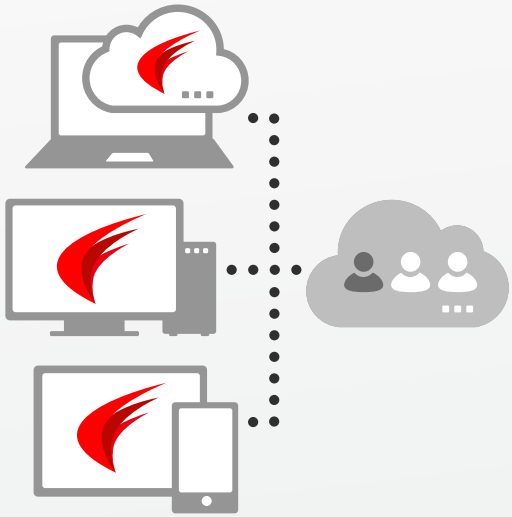
新機能の詳細はwww.graebert.com/ja/cad-software/ares-commander/new-features/まで

オーダーデスク +81 (0)3 6890 3303 sales@graebert.jp
サポートデスク support@graebert.jp

フレックスクラウド: 社内でのライセンスを共有

現状、お客様は、ARES Commander、 ARES Touch、 ARES Kudo で構成される Trinity ライセンスを複数のユーザーで共有すれば、必要なライセンス数を減らし、コストを削減することができます。 複数のユーザーで同時に共有できるフレックスクラウドライセンスが、これを実現します。

ARES Trinity を構成する3つの製品 ARES Commander、ARES Touch、ARES Kudo のいずれかからでもログインしたユーザーは、プールからライセンスを一つ取得するので、それは他のユーザーの使用権限を制限することになります。ユーザーが非アクティブな状態が60分を超えた場合、ライセンス　はプールに戻され、そのライセンスは他のユーザーが利用できるようになります。



フレックスクラウドライセンスでは、ネットワーク　ライセンスとは異なり、各ユーザーが同じオフィスにいる必要はありません。ユーザーがオフィス、 ホーム オフィス、または別の国にいるかどうかでさえも、もはや問題ではなく、いつでもどこでも作業できます。

フレックスクラウドライセンスは、1 年または 3 年のサブスクリプション期間を通して、最低 3 つのフローティング ライセンスで利用できます。ライセンスを取得するには、インターネット接続環境が必要です。

フレックスクラウドライセンスの主な使用例:

2

1. ネットワークライセンスに関心があるが、ユーザーが同じ場所に常駐しない企業。例えば、従業員が自宅で仕事をしたり、出張があるため、オフィスに常駐していない場合などです。これは、必ずしもTrinity機能に関心があるわけではないが、ユーザー グループでARES Commanderのライセンスを共有したいという組織にも当てはまります。
2. ARES Trinityに関心があり、ユーザー数が5人を超える企業。 例えば、6人のユーザー間で3つのフレックスクラウドライセンスを共有できれば、6人分の1年ライセンスよりも費用がかかりません。
3. 非常に多くのユーザーを抱えているため、誰がライセンスを必要としているのか正確に把握できていない管理者や、ライセスを管理し、1つ1つ割り当てることを望まない管理者が管理している企業。フレックスクラウドライセンスでは、管理者が多くのユーザーを招待して、システムがライセンスを自動的に割り当てることができます。弊社はそのユーザー数情報を共有します。

次の場合は、各ユーザーに手動で割り当てられる単一のライセンス（1年ライセンスや永久ライセンスなどの個別のライセンス）を購入する方が魅力的です。

- ARES Trinity に興味はあるが、ライセンスを共有する可能性のある指名ユーザーが4人以下である場合は、個々の1年ライセンスを利用する方がコストパフォーマンスが高くなります。

- フレックスクラウドライセンスは、すべてのユーザー が毎週月曜日の午前9時にARES で作業を開始しようとしても、ライセンスの共有ができません。すべてのユーザーが同時に共有するライセンスを利用するためには、会社はより多くのフレックスクラウドライセンスを購入する必要があります。つまり、60%以上のユーザーが同時に作業する場合は、個別のライセンスを購入するか、一部のユーザーには個別のライセンスを割り当て、その他のユーザーにはフレックスクラウドライセンスを共有するように混在させるなどの方がコストパフォーマンスが高くなります。

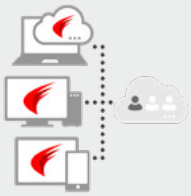
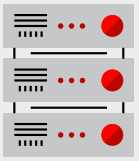
動画を見る

ARES®、 ARES Commander™、 ARES Touch™、 ARES Kudo™、 ARES Map™、 ARES Mechanical™、 SiteMaster ™は、 Graebert GmbH の商標または登録商標です。 その他のすべての商標および登録商標は各所有者に帰属します。 ©2023 Graebert GmbH. 無断複写、複製、転載を禁ず。

新機能の詳細はwww.graebert.com/ja/cad-software/ares-commander/new-features/まで

オーダーデスク　+81 (0)3 6890 3303　sales@graebert.jp
サポートデスク　support@graebert.jp

ARES Commander、ARES Kudo、ARES Touchを有効にするTrinityコラボレーション機能

	ネットワーク ライセンス	フレックス クラウド ライセンス
共有ライセンス	 Trinity なしの ARES Commander のみ	ARES Commander + ARES Kudo + ARES Touch 
コラボレーション機能	✗ NO ユーザーは匿名です。ユーザーはCADのフル機能を使用できますが、Trinity 機能は使用できません。	✓ YES 各ユーザーはログインとパスワードによって認証され、ARES Commander、ARES Kudo、ARES Touch で、すべての Trinity 機能を利用できます。
インストール	 **ライセンスサーバーをインストールし、**サーバーに接続するように各コンピューターを設定する。	 **インストールするものは何もなく、**Graebertカスタマーポータルの管理スペースにユーザーのメールアドレスのリストを入力して、ユーザーを招待するだけです。
ローカルドライブでの作業	✓ YES **ARES Commander**	✓ YES **ARES Commander**
クラウドストレージでの同期	✗ NO	✓ YES Googleドライブ、Box、Dropbox、OneDrive、OneDrive for Business, SharePoint, Onshape, Trimble Connect, AWS, WebDav, ARES Kudo Drive...
オンラインの閲覧／コメント（無料）	✗ NO	✓ YES **表示専用リンク**
社外での作業	✗ NO ユーザーが同一のローカルネットワークへ接続していることが必要。ライセンスの借用が可能。 （返却するまでライセンスの共有は不可能。）	✓ YES ARESの起動では、ユーザーはインターネット経由でライセンスを取得するので、使用デバイスがインターネットに接続していれば、ユーザーはどこにいても作業可能。
永久ライセンス	✓ YES	✗ NO 永久ライセンスとしては販売できないクラウドサービスを含む製品であるため。
1年ライセンス	✓ YES	✓ YES
3年ライセンス	✗ NO	✓ YES 2年分の費用で3年間使用可能。

フレックスクラウドライセンスと他のライセンスタイプとの混在が可能

重要 ：同一企業内であれば、1年ライセンスや永久ライセンスなどの単一ライセンスとフレックスクラウドライセンスとの混在が可能。　従って、一部の「中核を成すユーザー」に個別ライセンスを提供し、他の使用頻度の低いユーザーのためにフレックスクラウドライセンスを追加購入することも可能。（ただし、フレックスライセンスには最低3ライセンスの購入が必要。）

ARES®、 ARES Commander™、 ARES Touch™、 ARES Kudo™、 ARES Map™、 ARES Mechanical™、 SiteMaster ™は、 Graebert GmbH の商標または登録商標です。 その他のすべての商標および登録商標は各所有者に帰属します。 ©2023 Graebert GmbH. 無断複写、複製、転載を禁ず。

新機能の詳細はwww.graebert.com/ja/cad-software/ares-commander/new-features/まで

オーダーデスク　+81 (0)3 6890 3303　sales@graebert.jp
サポートデスク　support@graebert.jp

3

ビデオを見る

オンライン図面比較

ARES Commanderと同様に、ARES Kudoを使用して、2つの図面ファイルを比較し、相違点をハイライト（色変更可）で表示して、確認できるようになりました。

Drawing Compare コマンドを使用すると、ユーザーは任意の2つの図面を比較して、それらの違いを簡単に識別できます。ARES Kudo でも、ARES Commander と同様に、この機能を使用できます。

4

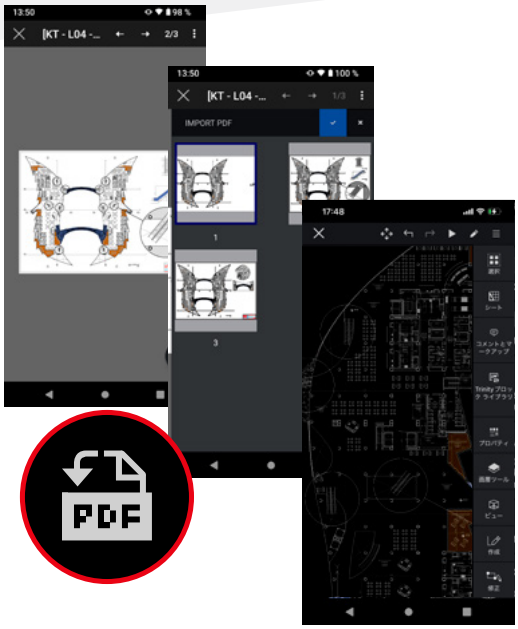
ビデオを見る

ARES Kudo:
別のユーザーから編集作業を引き継ぐ

図面を変更する必要があるユーザーは、編集モードへの切り替えを簡単に要求できるようになりました。

共有されている図面の編集権限を持つユーザーであれば、いつでも変更を加えることができます。共有する図面が、1人のユーザーによって、既に開かれている場合は、他の編集権限を持つユーザーであっても、その図面を表示専用モードで閲覧することしかできません。ただし、図面の編集を依頼することはできます。現在、図面を編集しているユーザーは、その依頼の通知を受け取り、その要請を承認することも拒否することもできます。編集作業が終了するとすぐに、他のユーザーは通知を受け取り、編集作業に入ることができます。

5



ビデオを見る

ARES Touch:
モバイルで PDF を表示して DWG に変換

PDFを開いて、DWGとして編集し、DWGとPDFのどちらでも保存可能です。

ARES Touch では、これまでDWGファイルを開いて作業することはできても、PDFを開くことはできませんでした。ですが、ARES Touchの新しいPDFインポート機能では、ユーザーは、ファイルブラウザで任意のPDFをタップするだけで、ARES Touchで開くことができ、ワークフローが大きく改善されました。それは、 PDFのすべてのページが編集可能で、使い慣れたズームや画面移動などの操作で細部まで確認することができます。

そして、ユーザーは閲覧以外にも多くのことができます。また、PDFファイル（ページ単位でも）をDWGファイルに変換し、修正した後、DWGとして保存したり、もう一度PDFとして書き出したりすることも可能です。

ARES®、 ARES Commander™、 ARES Touch™、 ARES Kudo™、 ARES Map™、 ARES Mechanical™、 SiteMaster ™は、 Graebert GmbH の商標または登録商標です。 その他のすべての商標および登録商標は各所有者に帰属します。 ©2023 Graebert GmbH. 無断複写、複製、転載を禁ず。

新機能の詳細はwww.graebert.com/ja/cad-software/ares-commander/new-features/まで

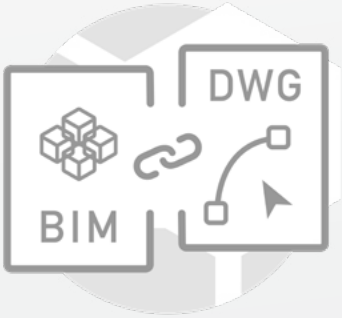
オーダーデスク +81 (0)3 6890 3303 sales@graebert.jp
サポートデスク support@graebert.jp

ARES® Commander 2024 の機能：BIM から CAD へ

BIM プロジェクトに最適な DWG 図面

ウェブサイトから詳しい情報を得ることができます：　WWW.GRAEBERT.COM/JA/NEW

ARES　CommanderのBIM機能は、CADとBIMソフトウェア間の機能していないワークフローを修復することを目的としています。ARES　Commanderは、従来のCAD機能に加えて、BIMオブジェクトの特性を利用して、BIM図面からCADユーザーが扱うのに最適なDWG図面を自動的に生成します、即ち、BIMに対応した機能を含むことで差別化がされています。



ARES Commanderでは、DWG図面はBIMプロジェクトにおいて、変化のないデータではありません。BIMプロジェクトでの内容変更は避けられませんが、ARES　Commanderでは、元のBIM図面とそのデータから生成されたDWG図面は、連動し、変更に対応します。

この連動のおかげで、ユーザーが更新されたBIM図面を受け取ると、ユーザーの手で修正を加えずとも、BIMプロジェクトに加えられた変更がすべての図面に反映され、更新されます。ユーザーが追加したすべてのCAD図形は図面に残り、図形に付随するラベルなども、その図形の更新と共に自動的に更新されます。

自動化の拡大、労力の低減

ARES　Commanderは、BIM図面の作成をできるだけ効率化するために、ユーザーの手で行うと時間がかかる多くの作業を自動化しています。これらの時間短縮の機能は、ユーザーに以下の自動化を提供します。:

- 他の図面を参照するためのリンクを自動的に追加。
- 任意のBIM図形、例えば、壁に挿入されるドアや窓などを作成すると、自動的に位置合わせされた寸法を取得して、手を加える必要がなく、壁に挿入されます。
- ドア、窓、部屋、スペースのラベルなど、あらゆるBIM図形のプロパティを抽出して注釈を作成します。
- マテリアルマッパーを使用すると、DWG図面上のBIM図形のスタイルを自動的に設定します。例えば、壁にハッチングを適用すると、同じタイプの壁すべてに同じハッチングが適用されます。ARES　Commanderのバージョン2024では、以前はユーザーが手動で行っていたBIM図面の作成を自動化することで、このコンセプトをさらに押し進めています。

ARES®、 ARES Commander™、 ARES Touch™、 ARES Kudo™、 ARES Map™、 ARES Mechanical™、 SiteMaster™は、 Graebert GmbH の商標または登録商標です。 その他のすべての商標および登録商標は各所有者に帰属します。 ©2023 Graebert GmbH. 無断複写、複製、転載を禁ず。

新機能の詳細はwww.graebert.com/ja/cad-software/ares-commander/new-features/まで

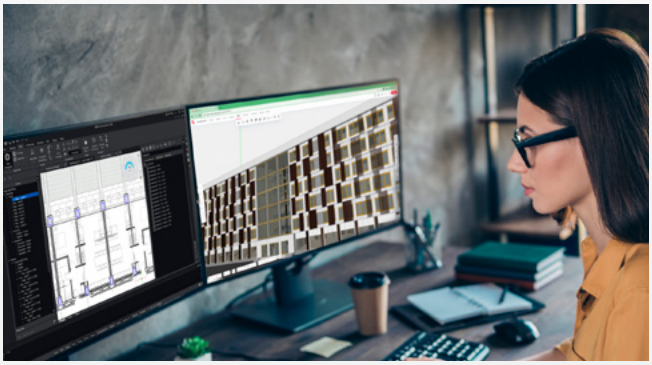
オーダーデスク　+81 (0)3 6890 3303　sales@graebert.jp
サポートデスク　support@graebert.jp

BIM プロジェクトに最適な DWG 図面

BIM図面の自動作図

ARES Commanderの以前のバージョンでは、BIMプロジェクト (IFC または Revit) をインポートし、2D図面 (フロアプラン、立面図、断面図など) を抽出して、完成した図面をDWGで保存できる独自の機能を導入しました。新バージョンでは、このプロセスを自動化し、ユーザーがカスタマイズできるスクリプトで図面一式を生成します。

どんな建築プロジェクトでも、平面図、断面図、立面図などの必要な図面の作成には、かなりの時間を要します。また、作成された図面が正しい仕様で作図されているかどうかの確認についても、多くの時間を要します。そこで、手作業によるミスを防ぐためにも、このプロセスを短縮し、ARES CommanderのBIM機能を強化し、IFCやRevitのモデル情報に基づいて図面を生成できるようにしました。



バージョン2024では、もちろん手動で新しい図面を作成するオプションも残されていますが、自動BIM図面作図機能により、あらかじめ設定されたスクリプト（ユーザーがカスタマイズ可能）に従って、図面一式を自動的に生成することができます。

デフォルトの自動BIM図面作図機能は、例えば、各階の平面図、断面図、各方面の立面図などを自動生成するスクリプトになっています。もちろん、このスクリプトはユーザーがカスタマイズ可能です。

自動BIM図面作図機能には、DWG図面を生成した後のプロセスをさらに自動化するコマンドも含まれています。:

自動ラベル作成機能

これらの図面を生成した後に、ユーザーは自動ラベル作成機能を使用して、BIM図形から情報を抽出するラベル（ドアのラベルなど) を自動的に挿入できます。
これらのラベルは、情報を抽出するだけでなく、変更された元のBIMプロジェクトを、ARES Commanderで再ロードした場合、自動更新される便利なものです。

自動寸法作成機能

自動寸法作成機能では、ユーザーは壁に自動整列するスマート寸法を作成できるようになり、BIMモデルが変更された場合は、ARES Commanderで再ロードされると、寸法も自動で位置合わせされ、更新されます。

自動シート作成機能

自動シート作成機能は、自動的にシートを作成し、選択した縮尺で各図面をそのシートに挿入します。

ビデオを見る

BIMAUTOALLコマンド：1ステップでこれらすべてのアクションを自動実行

最後になりましたが、BIMAUTOALLコマンドは、これらすべての機能を1つにまとめて、これらすべてのステップを連続して実行します。BIM図面作成自動化のための新しいツールは、プロジェクトで一貫したフォーマットのドキュメントを生成しますが、必要に応じて、ARES Commanderの他のどの作図ツールを使用しても、 同じように編集できます。なお、これらの自動オペレーションを実行した後に、ユーザーが自動生成されたものをさらにカスタマイズできることが重要です。このスクリプトは、ユーザーがARES CommanderのBIM機能を操作して、手動で行うことを自動化するだけですが、明らかに多くの時間を節約できます。これは、ユーザーに次のことを可能にします。

ARES CommanderのBIMフィルターでは、どのBIMオブジェクトを図面に表示するかを選択できます、そして、 マテリアルマッパーを使用すれば、各BIMオブジェクトをどのように表示させるかを設定できます（例えば、特定のハッチを持つ特定のタイプの壁など）。

また、ユーザーや組織ごとに独自の自動オペレーションを設定するために、スクリプトをさらにカスタマイズできることが大きなメリットです。

ARES®、 ARES Commander™、 ARES Touch™、 ARES Kudo™、 ARES Map™、 ARES Mechanical™、 SiteMaster™は、 Graebert GmbH の商標または登録商標です。 その他のすべての商標および登録商標は各所有者に帰属します。 ©2023 Graebert GmbH. 無断複写、複製、転載を禁ず。

オーダーデスク +81 (0)3 6890 3303 sales@graebert.jp
サポートデスク support@graebert.jp

新機能の詳細はwww.graebert.com/ja/cad-software/ares-commander/new-features/まで

ARES® Trinity
CAD SOFTWARE

30日間無料でお試しください
当社のソフトウェアをお試しください:

今すぐダウンロード

www.graebert.com/ja/cad-software/download/

GRAEBERTについて、 こちらもご覧ください

facebook
facebook.com/GraebertJapanSoftware

linkedin
linkedin.com/company/graebert-gmbh

twitter
twitter.com/GraebertJapan

youtube
youtube.com/c/GraebertJapan/

Gräbert

ARES®、 ARES Commander™、 ARES Touch™、 ARES Kudo™、 ARES Map™、 ARES Mechanical™、 SiteMaster™は、 Graebert GmbH の商標または登録商標です。 その他のすべての商標および登録商標は各所有者に帰属します。 ©2023 Graebert GmbH. 無断複写、複製、転載を禁ず。

新機能の詳細はwww.graebert.com/ja/cad-software/ares-commander/new-features/まで

オーダーデスク +81 (0)3 6890 3303 sales@graebert.jp
サポートデスク support@graebert.jp